

第 II 部
各ブロック会議

【東北・北海道ブロック】

平成 27 年度 東北・北海道精神保健福祉センター所長会総会

開催日時；平成 27 年 6 月 11 日、6 月 12 日

会 場；パレス宮城野（仙台市青葉区上杉 3 丁目 3 番 1 号）

参 加；北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、札幌市、仙台市の各センター所長

議事次第

1 開会

2 あいさつ

東北・北海道精神保健福祉センター所長会会長 西條 尚男氏

宮城県保健福祉部長 伊東 昭代氏

3 参加者自己紹介

4 協議

- (1) 平成 26 年度事業報告及び収支決算報告
- (2) 会計監査報告
- (3) 平成 27 年度事業計画及び収支予算
- (4) 役員体制及び役員改選
- (5) 平成 30 年度以降の開催担当道県市
- (6) 意見交換・その他

意見交換の要旨

- (1) 精神医療審査会における各種届出等の審査状況、退院後生活環境相談員の資格と退院に向けた取り組み、退院請求取り下げの事務手続き、精神障害者手帳・自立支援受給者証交付事務について、各道府県政令市における方式で行っていることを協議した。
- (2) 薬物・アルコール関連事業に関して、薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予に関する法律施行に向けた各地域の取り組み状況について協議した。その際、治療・回復プログラムの実施、関係機関との連携などの薬物依存関連事業の各センターの取り組みについて協議した。また、アルコール健康障害対策基本法に関する各センターの取り組み状況を協議した。
- (3) 自殺対策におけるゲートキーパー養成の取り組みについて、若年者の自殺対策の取り組みについて、各センターからの報告があった。また、地域自殺予防情報センターが中心になっての市町村の行動計画策定を支援の取り組み状況を協議した。
- (4) 長期入院精神障害者の地域移行の取り組みや、ギャンブル関連相談、ひきこもり対策、発達障害関連相談の取り組みに関して協議した。
- (5) 社会保障・税番号制度の対応について、実施状況を協議した。

5 閉会

【関東甲信越ブロック】

平成 27 年度 関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会報告

担当：さいたま市こころの健康センター

参加：埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県、長野県、新潟県、東京都（都立中部総合、都立多摩総合、都立）、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、新潟市、さいたま市の各センター

はじめに

平成 27 年度の関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会は、平成 27 年 12 月 4 日、さいたま市浦和コミュニティーセンターにおいて開催し、関係者の皆様ご協力により、滞なく終了することができました。今回の協議会は、さいたま市こころの健康センターが平成15年に設立されて以来、初めての大役でした。不慣れな中でしたが、諸先輩センターからのご助言やご協力のもとに、職員が一丸となって準備いたしました。

参加状況

今回の協議会には、ブロックの全18センターより60名以上のご参加があり、時代の要請に応じていく責任のある精神保健福祉センターの現状と課題について、有益な情報交換と討議を行う貴重な機会となりました。

講演

午前の講演は、事前アンケートで要望が多かった「依存症」をテーマとし、「依存症治療の現状と精神保健福祉センターの役割」と題して、埼玉県立精神医療センター副院長成瀬暢也先生にお話をいただきました。近年、依存症関連の分野では、アルコール健康障害対策基本法の成立と施行、危険ドラッグの流行、来年度から開始される薬物依存症者を対象とした刑の一部執行猶予の施行など様々な動きがあります。今回のテーマは今までの講演より、かなり限定的な印象もあったのですが、先生の熱い思いと真摯な取り組みからは、依存症についてのみならず、対人援助の基本となる姿勢を改めて教えていただくことができました。

分科会

午後は4つの分科会を2分科会並行で行う形式として、第1分科会「依存症」、第2分科会「ひきこもり」、第3分科会「自殺対策」、第4分科会「精神医療審査会・改正精神保健福祉法」で、情報交換と討議を行いました。それぞれの分科会では各センターの歴史や規模、地域の状況などは様々であるにしても、現代社会の様々なメンタルヘルスの課題とニーズに対して、先駆的に取り組む役割のある精神保健福祉センターとして、有益な情報交換と意見交換がなされました。時間や会場の都合で取り上げられなかったテーマや掘り下げが足りなかった点などをご容赦いただきたいと存じます。

【中部・近畿ブロック】

平成 27 年度中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会

日時：平成 28 年 2 月 1 2 日（金）午後 1 時 30 分から午後 4 時 50 分

場所：ウインクあいち

幹事：愛知県精神保健福祉センター

参加：富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡市、浜松市、名古屋市、三重県、滋賀県、京都府、
京都市、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、愛知県

1 幹事県あいさつ

愛知県精神保健福祉センター所長 藤城 聡氏

2 講演

「女性相談センターの現状について」

愛知県女性相談センター所長 堀田伊久子氏

3 各センターの現状と課題

4 照会事項の検討

- 1) DV 加害者更生プログラムの実施状況と性犯罪者の更生について
- 2) 地域自殺予防情報センターの運営・体制と地域自殺対策推進センター（仮称）の設置について
- 3) 精神保健福祉手帳にかかる刑事訴訟法第 197 条第 2 項による照会について
- 4) 依存症を主たる精神障害とする場合の精神障害者保健福祉手帳の交付について
- 5) 犯罪被害者支援及び性暴力被害者支援の実施状況について

5 その他

6 閉会

【中部ブロック】

中部ブロック精神保健福祉センター長会及び連絡協議会報告

開催日時：平成27年7月31日（金）13:00～17:00

場 所：石川県庁 1405会議室、1402会議室

当番：石川県こころの健康センター

参加：（センター長会）富山県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、石川県、浜松市、名古屋市
（連絡協議会）富山県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、石川県、浜松市、名古屋市

1 当番県あいさつ

石川県こころの健康センター所長 角田 雅彦氏

2 講演会 13:05～15:00

・講演テーマ： 「一般的な精神科病院における自閉症スペクトラム障害の
臨床経験」

講 師 栃本 真一氏 石川県立高松病院副院長

・実践報告： 「石川県の発達障害支援の現状について」

報告者 高野 行秀氏 石川県こころの健康センター支援課長

・質疑応答・意見交換

3 センター長会及び連絡協議会 15:15～17:00

・センター長会（1402会議室）

主な協議事項：定期病状報告書等の記載、医療保護入院1年以上の入院者の審査、自殺未遂者支援の地域連携、自死遺族支援、CRT、依存症に関する相談支援や治療回復プログラム、ひきこもり者支援（アウトリーチ、地域支援センター等）、センター長会の精神障害者保健福祉手帳マニュアルの活用

・連絡協議会（1405会議室）

主な協議事項：石川県の「つなぐシート」、自死遺族交流会の広報、センターでの回数限定カウンセリング、依存症治療回復プログラム、ひきこもり支援コーディネーターや地域支援センター、自立支援医療（精神通院）の判定業務の体制

4 閉 会

【近畿ブロック】

平成 27 年度近畿ブロック精神保健福祉センター長会

平成 27 年 10 月 2 日（金）

13 時 30 分～17 時

堺市役所高層館 20 階 第 1 特別会議室

参加者：滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、堺市（19 名）

1 開会

2 あいさつ

堺市健康福祉局健康部 部長 北出 法正氏

3 議事

(1) 講演

「一部執行猶予制度について」

大阪保護観察所堺支部 支部長 生西 真由美氏

(2) 照会事項検討（協議事項なし）

1. 退院等請求に係る書面のみによる審査について（兵庫県）
2. 合議体の審査時における審問について（兵庫県）
3. 施設等入所者の精神障害者保健福祉手帳申請の取り扱いについて（奈良県）
4. 精神障害者保健福祉手帳に係る知的障害の判定について（堺市）
5. ひきこもり相談の継続事例への支援機関について（堺市）
6. 薬物依存症相談の相談に関わる医療相談（入院調整等）について（堺市）
7. 犯罪被害者等への取り組みについて（堺市）
8. アルコール健康障害対策基本法について（堺市）

4 その他

1. 理事会報告 辻本 哲士氏（滋賀県）
2. 次回開催県あいさつ 酒井 ルミ氏（兵庫県）

5 閉会

【北陸ブロック】

平成 27 年度 北陸ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

日 時：平成 28 年 2 月 1 日（月）14：00～17：00

場 所：福井県総合福祉相談所 大会議室

参 加：富山県、石川県、福井県

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

情報交換事項

①退院請求等専用電話の、退院請求以外の対応について

②口頭による退院請求について

③福井県が、精神保健福祉センターと児童相談所等の合同事務所となったことによるメリットとデメリットについて

④マイナンバー制への対応について

⑤平成 27 年度における自殺対策事業の取り組みについて

4 その他

5 閉 会

【中四国】

中四国精神保健福祉センター長会

日時：平成 27 年 9 月 3～4 日

場所：広島市文化交流会館

担当：広島県立総合精神保健福祉センター

参加者：鳥取県、島根県、岡山県、岡山市一、広島県、広島市、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県の各センター長、職員、及び各県・政令市担当課 約 60 名

概要：

講演会・全体会

中四国センター長会は 9 月 3 日（木曜）には「災害時こころのケア」というタイトルで、金吉晴センター長（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター）が、災害時こころのケア、DPAT の役割、PTSD について講演された。災害時こころの問題も 7，8 割は 2，3 か月で回復するため、行うべきは、ポジティブなメッセージと暮らしのサポートであること、ハイリスク群にはアウトリーチが重要であること、避難所では診断を求めてくるのではなく、通常のクリニックとは全く異なることを注意する必要があることなどが話された。

その後、全体会が行われ、災害支援について合同会議が行われた。広島豪雨災害について広島県と広島市より報告された。またその後、各県の DPAT 整備状況について情報共有がなされた。

今後 DPAT がどうなるかはこれからだが、DPAT は現在先遣隊の検討が主な課題となっているが、災害支援では中長期的な地域支援の課題も重要であるため、今後はセンター長会としても心のケアチームの在り方などを提言することが必要と考えていることがセンター長の間で確認された。

分科会

9 月 4 日（金曜）は分科会が行われ、ひきこもり支援、自殺ハイリスク者への支援、依存症者に対する支援、マイナンバー制度などについて情報共有がなされた。

ひきこもりについては、比較的高齢化したひきこもり事例への支援の困難さと課題が話し合われた。このような事例に対する支援課題の整理やその中でもうまくいった事例の紹介なども出された。連携先なども開拓する必要があり、今後ノウハウを積み重ねる必要がある。

自殺対策については、総合病院と精神科で振り返りの会を行ったり、メンタルヘルスファーストエイドを大学と共同で行ったりしている県もあった。また中学校での精神疾患の授業を行ったりするなどの工夫も報告された。若者に対しては教育関係者との連携の事例報告がいくつか出された。

依存症支援については、相談を始めてから、相談も倍増しているなどの報告もなされた。

このほかにも自立支援医療、手帳、精神医療審査会、救急医療などについての質疑も行われ、センターの業務の幅広さがうかがわれた。このような機会は日頃の業務の見直しとチェックのためには有効な機会であり、今後も継続して行うことが必要である。

【九州ブロック】

平成27年度九州ブロック精神保健福祉センター所長会及び研究協議会

日 時：平成28年2月4日（木）～5日（金）

場 所：iichiko総合文化センター4階中会議室2（大分市高砂町2番33号）ほか

開催県：大分県

1 参加：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市

2 開催内容

(1) 1日目 平成28年2月4日(木)

○開会挨拶 大分県福祉保健部長 草野俊介氏

○研究協議会 協議事項5題、情報交換事項21題 参加者数：36名

○九州ブロック精神保健福祉センター所長会

○各センター担当者による情報交換会（所長会と同時併行で開催）

(2) 2日目 平成28年2月5日(金)

○視察 佛山寺（由布市湯布院町川上1879番地1） 参加者数：29名

◇講話「おかげさま」一生かされ支えられー 講師：臨済宗妙心寺派 龍峯山佛山寺住職 足利能彦氏

◇坐禅体験

3 協議事項及び情報交換事項一覧

(1) 協議事項

- 1) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)におけるマイナンバー制度導入に対する対応（佐賀県）
- 2) 自立支援医療(精神通院)の認定における診断書の扱い（大分県）
- 3) ひきこもり支援センターの体制（長崎県）
- 4) ひきこもりの家族会との連携や組織育成（熊本県）
- 5) 精神障害者地域移行・地域定着支援事業推進のための、精神科病院向け研修会や精神科病院間の情報交換会等の実施状況（沖縄県）

(2) 情報交換事項

- 1) 精神保健福祉手帳・自立支援医療費のシステムネットワーク（長崎県）
- 2) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)の申請手続きに係る受給者への周知（長崎県）
- 3) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費(精神通院医療)の申請手続き業務（長崎県）
- 4) 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳の交付に係る個人番号の取得及び申請書類等の管理方法(鹿児島県)
- 5) 精神障害者保健福祉手帳の等級判定及び診断書の保管方法（福岡市）
- 6) 精神障害者保健福祉手帳の等級判定に対する異議申立（福岡市）
- 7) 自立支援医療の投薬内容（北九州市）
- 8) 自立支援医療費(精神通院医療)の院外薬局の認定（熊本県）
- 9) 代理人による退院等請求の審査結果通知の記載内容（宮崎県）
- 10) 精神医療審査会の事前審査の実施方法等（大分県）
- 11) ひきこもりサポーター養成研修事業（福岡県）
- 12) ひきこもりに関する訪問支援（大分県）
- 13) 思春期相談の開設状況（佐賀県）
- 14) 自殺再企図防止のための取り組み（沖縄県）
- 15) 労死等防止対策に係る対応（北九州市）
- 16) 改正精神保健福祉法に関する業務従事者研修会の実施（福岡県）
- 17) 精神障害者の就労支援の取組（福岡県）
- 18) 薬物事犯者の刑の一部執行猶予制度施行によるセンターの役割（大分県）
- 19) 薬物等依存者に対する回復プログラムの実施（福岡県）
- 20) 職場におけるストレスチェック制度の導入により、センターに求められる役割（佐賀県）
- 21) 新専門医制度への移行に伴うセンターの対応について（佐賀県）

【大都市部会】

平成27年度第1回全国精神保健福祉センター長会・大都市部会

日時:平成27年7月16日(木)午前10時30分 から 午後1時30分 まで

会場 : 東京都 アジュール竹芝

出席者:札幌市、仙台市、さいたま市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、
神戸市、岡山市、北九州市、福岡市、熊本市

事務局:名古屋市

- 1 開 会 名古屋市精神保健福祉センター所長 新 畑 敬 子 氏
- 2 挨 拶 全国精神保健福祉センター長会 副会長
新潟市こころの健康センター所長 福 島 昇 氏
- 3 照会事項

	照会事項	都市名
1	退院請求等に対する庁内の業務分担	静岡市
2	精神医療審査会委員の任期にかかる対応	静岡市
3	精神医療審査会により意見聴取において「書面の提出」とする判断基準の設定について	静岡市
4	精神医療審査会審査資料の発送方法	熊本市
5	退院等請求における意見聴取の方法	熊本市
6	定期病状報告書、入院届の報告料	熊本市
7	精神障害者保健福祉手帳の等級判定及び診断書の保管方法等	広島市
8	専用電話相談について	静岡市
9	自殺対策におけるゲートキーパー養成等について	札幌市
10	ギャンブル依存症対策	横浜市
11	薬物依存症対策について	名古屋市
12	「歳入」につながる事業の実施状況	静岡市

4 その他

- 5 次回開催都市挨拶 京都市こころの健康増進センター所長 波 床 将 材 氏

【大都市部会】

平成27年度第2回全国精神保健福祉センター長会・大都市部会

日時:平成28年2月25日

会場 : 東京都 都市センターホテル

出席者: 札幌市、仙台市、さいたま市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、大阪市、堺市、
神戸市、岡山市、北九州市、熊本市

事務局: 京都市

1 開 会 京都市こころの健康増進センター所長 波床 将材氏

2 挨 拶 全国精神保健福祉センター長会 会長
横浜市こころの健康相談センター長 白川 教人氏

3 協議事項 なし

4 照会事項

	照会事項	都市名
1	障害福祉サービス事業所職員向け研修の実施状況について	静岡市
2	精神保健福祉センターとして行っている教育研修について	横浜市
3	地域移行の効果(退院者数、地域でのシステムなど)の検証方法について	岡山市

5 その他

6 次回開催都市挨拶 大阪市こころの健康センター所長 田中 政宏氏